



社会福祉法人 関西中央福祉会 平成リハビリテーション専門学校
 作業療法学科専任教員 細川 雄平（認定作業療法士／保健衛生学学士）
 NPO 快適な排尿をめざす全国ネットの会 CUN 理事
 OT 協会臨床実習指導認定者 MTDLP（生活行為向上マネジメント）実践者
 排泄機能指導士 排尿機能検査士 上級快適 CIC 指導士 いきいき百歳体操サポーター

この度、日本排尿機能学会誌第30巻2号（2020年6月発行）に執筆させていただいた論文が掲載されました。論文タイトルは、高齢者の下部尿路機能障害に対するリハビリテーションです。

排尿障害の存在は、在宅復帰の支障となります。排尿障害は泌尿器科疾患のみならず脳血管疾患、脊髄損傷、パーキンソン病、糖尿病性神経障害などといったリハビリテーションの必要性の高い疾患にも多く合併することが知られています。その多くが高齢者であり、理学療法士や作業療法士（以下、リハセラピスト）が介入する機会も多く、退院支援を行っていく中で排尿障害の改善は必須です。

排尿障害の病態は多様であり、機能訓練だけでなく生活指導も含め、排泄関連動作や環境整備等も含めて対応が求められます。しかし、こうした取り組みには経験や技量が求められる他、リハビリテーション養成校では、排泄ケアにおける十分な教育がなされていない現状があります。そのため、排尿障害のリハビリテーションにおけるリハセラピストの役割や関わり方について概説した内容となっております。興味・関心ある方は、是非読んでください。よろしくお願い致します。



【総説】

高齢者の下部尿路機能障害に対するリハビリテーション

1. 高齢者における下部尿路機能障害の実態
2. 高齢者の下部尿路機能障害に対するアセスメント
3. 高齢者の下部尿路機能障害に対するリハビリテーション
4. 高齢者の下部尿路機能障害に対するリハビリテーションの課題
5. 重点かつ、系統的な下部尿路機能障害に対するリハビリテーションの臨床的有用性
6. まとめ

【その他の学会・論文等】

- (共著) 『みんなで取り組む排尿管理』 日本医療企画 (2018. 10)
- (共著) 食事操作と姿勢制御の関連性—スプーン操作時の重心移動について— (大和大学 研究紀要 第1巻 2015. 3)
- (共著) 膀胱直腸障害に対するリハビリテーションの効果検討 医学のあゆみ 医歯薬出版 2016. 6
- (共著) 膀胱直腸障害に対するリハビリテーションの効果検討 日本慢性期医療協会誌 (JMC) 第110号 vol.25,2017.4月号
- (共著) 高齢者の膀胱直腸リハビリテーションの実践 総合リハ 医学書院 (2019. 2)
- (共著) 作業療法士による排泄ケアアドバイザー活動の実践 OT ジャーナル 三輪書店 (2019. 3)
- 第25回日本慢性期医療学会 シンポジウム (2017.10 仙台)
- 第25回日本排尿機能学会 シンポジウム (2018.9 名古屋)
- 第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 シンポジウム (2019.2 大阪)



医学書院



雑誌：「総合リハビリテーション」
 論文タイトル：高齢者の膀胱直腸リハビリテーションの実践
 Practice of a structured rehabilitation program against geriatric
 dysuria and dyschezia
 発刊日：2019年2月10日

雑誌：「作業療法ジャーナル」
 論文タイトル：作業療法士による排泄ケアアドバイザー活動の実践
 Support by the expert occupational therapist
 as the continence care adviser:a practical approach.
 発刊：2019年3月15日



私事ですが、
 本の執筆に関わらせていただきました。

